

令和6年度 希望ヶ丘高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
① 法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規程の徹底）	教育公務員として、教育の専門家としての自覚、意識を高め、信用失墜行為を防止する。	8月に研修とともにアンケート調査を実施し、公務員として、職務上、また、身分上、様々な義務や規律が課せられていることを理解し、職務に専念し、服務規律を遵守することを確認した。目標を達成した。
② 職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	ハラスメント行為について、職員が認識を共有し、同僚性の醸成を図ることで不祥事を未然に防止する。	1月にハラスメントに関する不祥事防止会議を開き、ハラスメントの具体的な事例を紹介し、アンケート調査実施した。自分の価値観や意見を一方的に押し付けることがないように、また、同僚に対する思いやりを持った言動をすることを再度確認した。目標を達成した。
③ 生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりが生徒の人権を意識し、生徒の人権を守るために取組を図るとともに組織的な取組を通して、わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	5月の不祥事防止会議において、啓発資料により生徒の実情を知り、被害にあった生徒の心情を理解することで、生徒が安心して通える学校づくりを目指すことを再認識した。不祥事防止の観点から教科準備室等の適切な利用を徹底し、生徒指導等については必ず複数人で対応することを確認した。目標を達成した。
④ 体罰、不適切な指導の防止	体罰、不適切な指導について職員が認識を共有し、不祥事を未然に防止する。	7月に体罰や不適切指導防止に関する事故防止会議、不祥事防止研修等を実施した。校内相談窓口について生徒へ周知し、生徒が相談しやすい環境づくりを進めた。目標を達成した。
⑤ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	マニュアルに基づき点検体制を再確認し、確実に業務を行い、事故を未然に防止する。	6月、12月に不祥事防止研修会を行い、相互チェック機能を強化し、マニュアルに則った点検を徹底した。進路関係書類発行業務は、担当者任せにせず、学年、キャリア支援グループ全員で対応を行った。目標を達成した。
⑥ 個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	個人情報の取扱いには細心の注意を払い、流出や紛失を防止する。	オンラインを利用した生徒とのやり取りにおける個人情報の取扱いルールを徹底し、個人情報の流出を防止に努めた。教職員及び児童・生徒に対し、他人を撮影することのリスク等について周知し、徹底した。目標を達成した。
⑦ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	教育公務員としての自覚を持ち、交通法規遵守の徹底、酒酔い・酒気帯び運転の根絶を図る。	11月に職員啓発資料等をもとに、交通事故等防止に向けた研修を行い、自分のアルコール依存度を確認するアンケートを行った。自身の飲酒習慣を再確認し、飲酒の予定がある日は、自家用車、自転車での通勤は絶対しないことを職員に徹底した。目標を達成した。
⑧ 財務事務等の適正執行	会計の執行において、適切な手続きと処理に努める。	「私費会計事務処理の手引」に基づく執行方法の周知を図り、不適切な事務処理の防止を行った。10月の不祥事防止会議で不適切な公金の取扱いの具体的な事例をあげ、事故防止を徹底した。

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

令和6年度の不祥事ゼロプログラムは、法令遵守意識の向上、ハラスメント防止、児童・生徒へのわいせつ行為防止、体罰防止、個人情報管理の各目標を達成した。特に、研修に力をいれ、今日的な課題を解決するために外部講師による研修を充実させた。令和7年度は、若手職員の育成、風通しの良い職場環境の維持、個人情報管理強化重点を置く。リスク管理の徹底と継続的な研修を通じて、職員の更なる意識の向上を図っていく。また、透明性のある組織運営に努め、信頼される組織作りを目指す。これらの方策を通じて、全職員が一丸となり、不祥事ゼロを目指して取り組みます。